

第1回大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 会議要旨

- 1 開催日時 平成25年3月26日(火) 14時00分～
- 2 開催場所 大阪市役所地下1階 第11共通会議室
- 3 出席委員 家田委員、池尾委員、石田委員、伊藤委員、植田委員、上野谷委員、甲斐委員、後藤委員、多田羅委員、丹田委員、辻委員、手嶋委員、道明委員、永井委員、中尾委員、野口委員、早瀬委員、三浦委員、矢田貝委員
- 4 議 題
 - 1 大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会の専門分科会長等の選任について
 - ・専門分科会長の選任
 - ・専門分科会長代理の選任
 - 2 「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の進捗状況について
 - 3 大阪市高齢者実態調査について
 - 4 地域支援調整チームからの要望について
 - 5 大阪市介護保険事業の現状について
 - 6 その他
- 5 配布資料
 - 資料1 大阪市社会福祉審議会 組織図、委員名簿
 - 資料2 大阪市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会予定表
 - 資料3 「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の進捗状況
 - 資料4 大阪市高齢者実態調査の概要(案)
 - 資料5 大阪市高齢者実態調査(本人調査)について
 - 5-1 大阪市高齢者実態調査(本人調査)調査票(案)
 - 5-2 大阪市高齢者実態調査(本人調査)調査票前回調査からの主な変更点
 - 資料6 地域支援調整チームからの要望について
 - 資料7 大阪市介護保険事業の現状について
- 6 会議要旨
 - 【議題1】
 - 大阪市社会福祉審議会運営要領第8条第1項に基づき、委員の互選により、多田羅委員が分科会長に選出された。
 - 同運営要領第8条第3項に基づき、多田羅分科会長から、石田委員を分科会長代理する旨の指名があった。

- 同運営要領第12条第1項に基づき、委員の互選により、早瀬委員が保健福祉部会長に、上野谷委員が介護保険部会長にそれぞれ選出された。

【議題2】

- 事務局から、資料2に基づき「今後の予定」について、資料3に基づき、「大阪市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」の進捗状況について説明。
- ・地域包括支援センターについて、箇所数は増加しているが、認知度が上がっていない状況だと考える。アピールする取組み、考えを知りたい。
 - 指摘のとおり、認知度がなかなかあがってきていない。来年度（平成25年度）には地域包括支援センターが66か所となるが、認知度を高めるために、地域に応じた創意工夫が必要だと感じている。各地域包括支援センターについては、評価の仕組みの中で、地域特性に応じたPRをどのように行っているかを基準としている。それぞれの地域包括支援センターでリーフレットを作る、または、地域が主催する会においてPRをしていただくとか、地域特性に応じた活動の展開を目指していただいております。今後、認知度は上がってくるものと期待している。
- ・地域包括という名称が日常用語ではない。愛称があるといいという意見は以前からあった。
- ・地域の人が自分のセンターだと思ってもらうことが重要ではないか。

【議題3】

- 事務局から、資料4と資料5-1、5-2に基づき、高齢者実態調査の概要及び調査票について、平成22年度からの変更点を中心に説明。
- ・ひとり暮らし調査が訪問調査から郵送調査となっているが、何か考えがあるのか。
 - 前回調査では、本人調査の際に、ひとり暮らし調査に協力いただけるという回答のあった方に、改めて訪問調査を実施したが、2段階の調査となるため調査に協力いただきにくい状況があった。また、自宅に訪問されることに抵抗があるという方もおられたと思われるので、今回は1回の調査で行う方法に変更したいと考えている。
 - 調査内容、調査方法等も含めて、今後の保健福祉部会、介護保険部会で検討する。

【議題4】

- 事務局から資料6に基づき、地域支援調整チームからの要望について説明。
(主な意見等)
- ・形式的なことは書かず、現場の声を次の施策にかえるような書きぶりにするべきではないか。
 - 担当課に伝え、意見を反映した形で回答する。

【議題5】

○事務局から資料7に基づき、介護保険事業の現状について説明

- ・居宅が伸びているということは施設の建設が遅れているということか。
→居宅の割合が多いのは、大阪市の特徴。施設の建設については、ほぼ計画どおりに進んでいる状況。
- ・施設整備に関して、全国と比較すると大阪市はどうか。
→政令指定都市の中でも、一定高い部類には入っている。
- ・量的な推移は出ているが、質が問題だと考えている。
→質については、指定指導の部署において、実地指導など指導する中で、担保していきたいと考えている。

【その他】

- ・大阪市の地域福祉計画が地域福祉指針になり、計画は各区でそれぞれ決めるという方向で策定されているが、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画は、このまま市全体となるのか、それとも、各区で決めるとなるのか。
→平成27年度からの計画については、大阪市全体の計画ということで進めたと考えている。